

## 【政府への働きかけ】 日系木質チップ企業の事業拡大に係る州政府へ働きかけ (米国オレゴン州)

実施日: 令和5年5月19日、6月13日

主催: 在ポートランド領事事務所

関連企業: オレゴン・チップ・ターミナル社(オレゴン州コースベイ市)

在ポートランド領事事務所

### 【背景】

- オレゴン州コースベイ市で木質チップ事業を展開する日系企業のオレゴン・チップ・ターミナル(OCT)社は、世界的に需要が急増する木質チップ需要を捉え、同市近郊で事業用地を取得し、チップ輸出能力増強及び石炭代替燃料となる半炭化ペレットの製造プラント新設等の事業拡大を計画。
- 一方でOCT社は州政府等による事業用地取得等の認可に時間を要しており、当館にオレゴン州政府の認可手続の迅速化を相談。

### 【在外公館の対応】

- 上記を踏まえ、当館は同州経済開発局長に対し、本事業の重要性と地域経済への貢献を説明するとともに、当該事業用地取得に係る手続迅速化に係る働きかけを実施。(5月19日)
- また、OCT社と連携し、同局長による同社木質チップ工場や事業用地の視察をアレンジ。同州政府幹部に対して、同社及び近隣材木業者から事業拡大に係る具体的なプランを説明。(6月13日)

### 【結果】

- 今回の働きかけ・PR活動を行った結果、州政府における本事業への理解が深まり、事業用地取得手続が順調に進むこととなった。
- 今回の事業拡大が進むことで、近隣の製材所で発生する「おがくず」等の副産物の再利用が可能となり、地域の木質廃棄物削減と半炭化ペレット利用によるCO2削減が期待される。

